

番号	2-2-1	表題	清瀬水再生センターにおける「分離処理システム」の導入	
内 容	<p>近年、汚泥中のりんに起因する焼却炉停止が発生し、焼却炉の安定稼働の支障となっており、汚泥中のりんに対して鉄などの金属類の比率をある程度確保することが有効であることが分かっている。一方、余剰汚泥にはりんが多く含まれていることから、りん資源化が期待できる。そこで、りん濃度の高い余剰汚泥とりん濃度の低い生汚泥を分離して脱水、焼却する「分離処理システム」を開発した。このシステムでは、障害の発生しやすい余剰汚泥に水酸化カルシウム（消石灰）を添加し、焼却炉の安定稼働を目指す。また、りん濃度の高い焼却灰を肥料の原料とすることで、処分する灰を減量できる。清瀬水再生センターにこのシステムを導入するにあたり、検討した内容を報告する。</p>			
キーワード	分離処理システム、りん資源化、焼却炉の安定稼働			
処理区名	荒川右岸処理区	位置区分	水再生センター、汚泥	
職種区分	設備	施策区分	汚泥処分 汚泥資源化	
状態区分	設計	新規性	新規知見あり	
実施年度	令和2年度	全体期間	令和2年度	
担当部署	流域下水道本部 技術部 設計課 機械設計担当			
発 表 履 歴	局内			
	局外	令和2年度 第57回下水道研究発表会		
調査方法	技術開発の導入を前提とした共同研究			
関連情報	経営計画2016、技術開発推進計画2016			